

高等学校 令和 7 年度（4 学年用）教科 公民 科目 政治経済

单位数： 3 单位

A組

)

の目標：

【学びに向かう力、人間性等】 国際社会に生きる人間として、よりよい世の中にすべくどう生きればよいのかを模索し続ける力を養う。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けさせる。	国家及び社会の形成者として必要な選択、判断の基準となる考え方や政治、経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したこととの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養わせる。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・政治、国家、法のあり方について考える。 ・基本的人権の歴史的発展や法の支配について理解する。 ・民主政治のしくみと課題を理解したうえで、権力分立と立憲主義の重要性を理解する。	現代国家と民主政治 ・民主政治と法 ・民主政治の基本原則 ・民主政治の仕組みと課題 ・世界のおもな政治制度	【知識・技能】 考查・小テスト 【思考・判断・表現】 ノートの記述・行動観察・レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の発言・行動観察	○	○	○	17
	定期考查			○	○		1
	・日本国憲法の成立過程を踏まえつつ、明治憲法との違いを理解する。 ・自由権・平等権・社会権の内容について理解する。 ・日本の安全保障政策の展開について理解する。	日本国憲法と基本的人権 ・日本国憲法の成立 ・日本国憲法の基本原則 ・自由権・平等権・社会権 ・平和主義と自衛隊	【知識・技能】 考查・小テスト 【思考・判断・表現】 ノートの記述・行動観察・レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の発言・行動観察	○	○	○	17
	定期考查			○	○		1
2 学 期	・国会の役割や権限について理解する。 ・司法制度のあり方や司法参加の意義について理解する。 ・経済的な効率性と公平性の対立関係について考える。	日本の政治と制度と政治参加 ・政治機構と国会 ・公正な裁判の保証 ・選挙制度 現代の経済社会 ・経済活動の意義 ・経済主体と市場の動き	【知識・技能】 考查・小テスト 【思考・判断・表現】 ノートの記述・行動観察・レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の発言・行動観察	○	○	○	21
	定期考查			○	○		1
	・経済成長と私たちの豊かな生活について考える。 ・金融を通じた経済活動の活性化について考える。 ・労働法の整備状況や、職場の人権保障について考える。	現代の経済活動 ・国民所得 ・金融の役割 ・財政の役割と租税 現代の日本経済と福祉の向上 ・消費者問題 ・労働問題と労働者の権利	【知識・技能】 考查・小テスト 【思考・判断・表現】 ノートの記述・行動観察・レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の発言・行動観察	○	○	○	21
	定期考查	・		○	○		1
3 学 期	・ナショナリズムや自民族中心主義との関係から考える。 ・外国為替市場における需要と供給の関係を確認する。 ・エネルギー資源の歴史と化石燃料が大量消費される背景を理解する。 ・地球温暖化問題をめぐる現状と	現代の国際政治・経済 ・国際社会と国際法 ・人種民族問題 ・外国為替市場のしくみ ・地球環境問題、資源エネルギー問題	【知識・技能】 考查・小テスト 【思考・判断・表現】 ノートの記述・行動観察・レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の発言・行動観察	○	○	○	24
	定期考查			○	○		1
							合計
							105